

雪氷災害イベントツリー

【雪氷現象から雪氷災害への流れを理解する】

- 雪氷現象は気象条件によって時々刻々と変化する
- 雪氷現象はいろいろな物に影響を及ぼし、時には災害を引き起こす
- 雪氷現象から雪氷災害への流れを理解しよう

■ 様々な雪氷現象と雪氷災害との関係

- 雪氷災害イベントツリー（下図）は、雪氷現象と雪氷災害との関係、さらにはそれによってどんな被害が出るかを示しています。
 - 降雪は、大雪、着雪・着氷、吹雪、積雪などを引き起こし、直接的・間接的を問わず様々な障害をもたらします。
 - 着雪・着氷は、建物や施設の機能を低下させ、停電や交通・物流の障害をもたらします。
 - 吹雪は、視程障害や吹きだまりを発生させ、交通や物流の障害をもたらすと同時に山の斜面の吹きだまりは、雪崩の原因にもなります。
 - 積雪は、斜面に積もれば雪崩の原因となりますし、道路に積もれば、除雪の遅れや路面凍結などの道路雪氷災害の原因となり、交通・物流の障害をもたらせます。また屋根に積もった雪は時にはその重さで建物自体を崩壊させます。
- このような雪氷災害は、単独で起こるだけではなくいくつかの種類が同時に、または続いて起こります。雪氷災害によって毎年100名以上の方が犠牲になっており、雪氷災害の被害軽減は、雪国にとって喫緊の課題となっています。

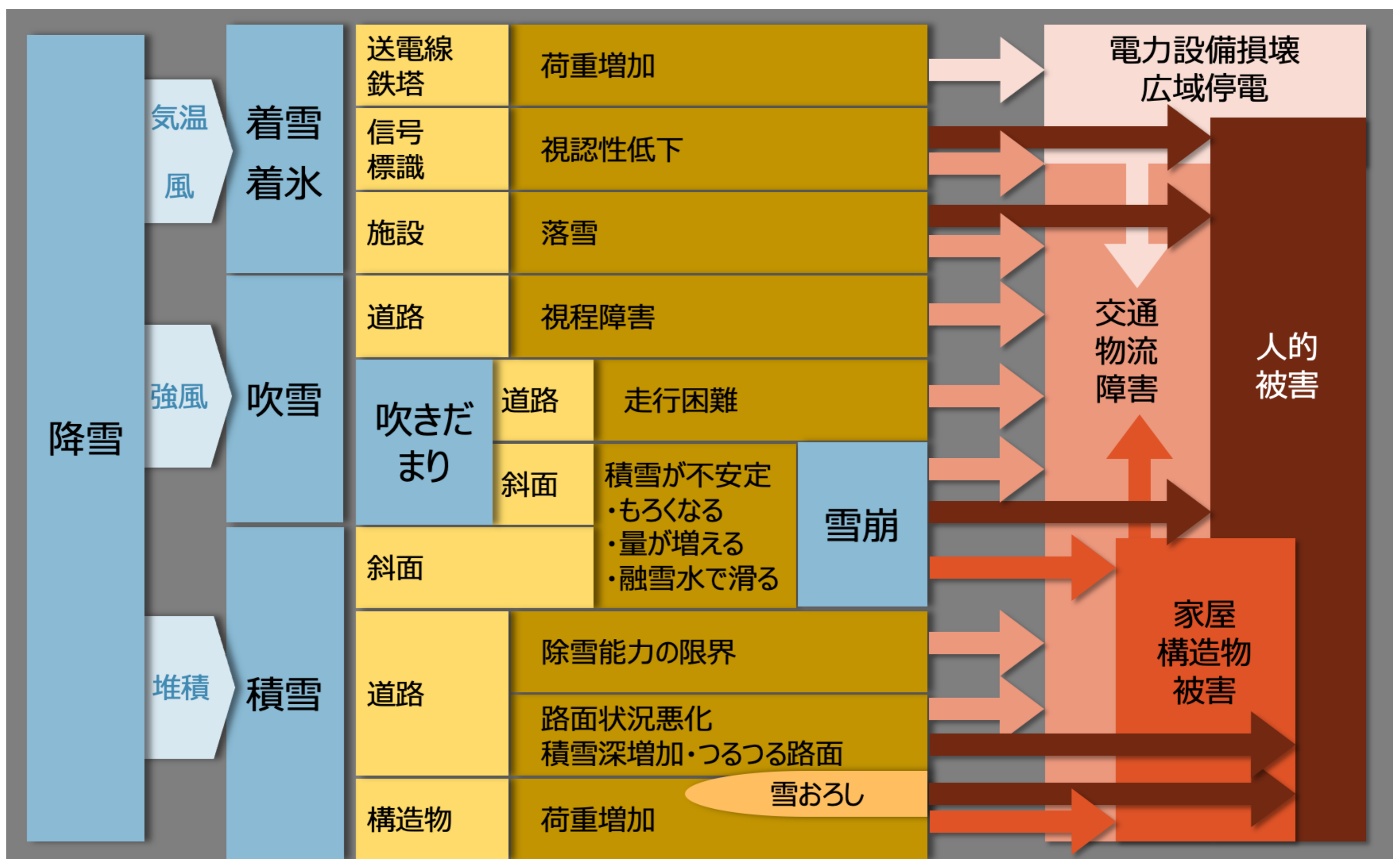


図 雪氷災害イベントツリー

